第二十四章 地域医療プログラム

- 1. 臨床研修協力施設の名称
- 気仙沼市立本吉病院
- 2. 目標(GIO: General Instructional Objectives)

研修医が将来の診療や連携に役立てることができるようになるために、地域におけるプライマリー・ケア、保健・福祉との連携、チーム医療を経験し、患者さんを全人格的にみるための知識・技能・態度を身につける。

- 3. 行動目標 (SBOs: Special Behavioral Objectives)
 - (1)気仙沼市の人口統計や地勢の概要を説明できる。 市内施設の見学、統計資料を用いた学習。
 - (2)気仙沼市立本吉尿院および保健・福祉センターの組織の概要と目的を説明できる。
 - (3)地域におけるかかりつけ医の役割、プライマリー・ケアの大切さを説明できる。 各種資料を用いたミニレクチャー
 - (4)介護保険について概要を理解し、主治医意見書を作成できる。 各種資料を用いたミニレクチャー

医師、理学療法士、ケアマネージャーとの症例検討

- (5) チーム医療、各職種の連携のため良好なコミュニケーションがとれる。
 - 医師、理学療法士、ケアマネージャーとの症例検討
- (6)地域の医療・福祉資源をよく理解し、問題解決のため各期間と相談、協力ができる。

医師、理学療法士、ケアマネージャーとの症例検討

- (7) 全人的医療について理解し、実践できる。 医師、理学療法士、ケアマネージャーとの症例検討 各種資料を用いたミニレクチャー
- (8)慢性疾患の外来管理を指導医のもと実践できる。 担当医師と外来診療に参加
- (9)健康維持に大切な患者教育(食生活、運動、禁煙)が行える。 保健師とともに各種健康教室に参加
- (10)各種予防接種について理解し、実践できる。

担当医師と予防接種外来に参加

(11)在宅医療を指導医のもと実践できる 担当医師、訪問看護師と在宅医療に参加 (12)健診業務を実践できる。

担当医師、保健師と健診業務に参加

(13)介護施設の活動に参加し、経験を具体的に述べることができる。 担当医師と特養回診に参加

4. 研修評価

		T		1
行動目標	目的	内容	評価時期	評価方法
(1) (2)	形成的評価	知識	オリエンテーション 終了後	口頭試問
(3) (4)	形成的評価	知識	ミニレクチャー終了後	口頭試問
(4)	形成的評価	知識・技能	研修中	意見書を 記載
(5) (6)	形成的評価	技能・態度	各実習中 カンファレンス時	観察記録
(7) (8)	形成的評価	知識・技能・態度	各実習中 カンファレンス時	観察記録
(9)	形成的評価	知識・技能・態度	健康教室中	観察記録
(10)	形成的評価	知識・技能	実習中	観察記録
(11)	形成的評価	知識・技能・態度	実習中	観察記録
(12)	形成的評価	技能	実習中	観察記録
(13)	形成的評価	技能・態度	実習中	観察記録

5. 研修スケジュール

	午前	午後	夕方~夜
月	外来実習	外来実習	訪問診療
火	外来実習	外来実習	訪問診療
水	外来実習	外来実習	訪問診療
木	外来実習	外来実習	一般リハビリカンファ
金	外来実習	外来実習	

6. 研修実施責任者および指導を行う者 気仙沼市立本吉病院 院長 齊藤 稔哲

第二十五章 保健所プログラム

- 1. 臨床研修協力施設の名称 北海道苫小牧保健所
- 2. 目 的

保健所の現場を経験し、保健所の多様な役割機能を理解することで、今後の診療において、地域保健や福祉と連動した取り組みを推進するための医師の役割について学ぶ。

- 3. 研修期間 1週間(実質5日間) ※2週間まで延長可能
- 4. 研修プログラム
 - 1) 結核対策
 - ①結核予防に関する法制度について
 - ②地域における結核のまん延状況の把握及び防止対策について
 - ③結核患者発生時の適切な治療方法について
 - ④ツベルクリン反応検査・BCG接種について
 - ⑤胸部エックス線写真の読影 (スクリーニング)
 - 2) 感染症対策
 - ①感染症発生時の医師の届出義務について
 - ②サーベランスシステムの活用と意義について
 - ③感染症予防対策と二次感染予防対策について
 - ④HIV・AIDS対策について
 - 3) 特定疾患対策(小児慢性疾患含む)
 - ①登録疾患と診断から申請、認定までの流れについて
 - ②特定疾患診断書・意見書の非該当事例等の検討
 - ③小児慢性疾患等の諸制度と診断書・意見書の点検
 - 4) 健康づくり施策
 - ①健康づくり施策と各種医療制度及び主治医意見書について
 - ②生活習慣病予防について
 - 5) 高齢者保健福祉対策
 - ①介護保険制度と認定の仕組みについて
 - ②地域リハビリテーション活動について
 - ③患者、家族に対する療養支援について